

立岩地区地域福祉活動計画

よりそい、気配り、支え合い
— 笑顔あふれる花垣の里 —

令和2（2020）年度～令和6（2024）年度



立岩地区社会福祉協議会

目 次

第1期立岩地区地域福祉活動計画の策定にあたって	P1
立岩地区の自然と歴史～自然豊かな立岩地区～	P2
立岩地区の概要	P3
立岩地区社会福祉協議会の概要	P4
立岩地区の行事・活動の概要	P5
立岩地区地域福祉活動計画	P6～12
立岩地区地域福祉活動計画の位置づけ	P6
計画の期間	P7
立岩地区の将来像～地区社会福祉協議会が目指すもの～	P7
基本理念	P8
活動方針	P9
重点課題	P9
基本福祉活動計画	P10～12
資料1 立岩地区福祉台帳	P13～26
資料2 立岩地区内の団体と活動及び施設・史跡等	P27～28
資料3 立岩地区の環境と福祉の現状（アンケート調査から）	P29
資料4 第1期立岩地区地域福祉活動計画策定作業について	P30
資料5 立岩地区の年齢別住民基本台帳登録者数	P31

第1期立岩地区地域福祉活動計画の策定にあたって

この度、立岩地区地域福祉活動計画を策定することになりました。

人口が減少する中、少子高齢化が進み、独居高齢者・高齢者夫婦世帯が増加しています。

また、公共交通機関は、日に数本のバスのみであり、商業施設・医療機関も地域内にはなく、高齢化が進む中、日常生活の維持に課題が増加すると思われます。また、少数での子育て、障がい者の生活維持など多方面への課題も配慮する必要があります。現状の把握・行政での支援・地域での支え合いを日常の中に活かせる体制を構築することが望まれます。

社会福祉法の第4条には、「地域住民、社会福祉を目的とする事業を営む者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない」と謳われています。

地域住民の日常生活の中での相互の助け合い・思いやりの風土づくりとともに、現状の把握・迅速な福祉サービスの提供での支援で、安心して暮らせる地域づくりが急務です。

松山市、松山市社会福祉協議会も、第4期地域福祉計画・地域福祉活動推進計画「このまちのえがおプラン」(令和元年度から令和5年度)を策定しています。これらの方針・計画を前提に、地域の特性を考慮しながら、連携する「立岩地区地域福祉活動計画」を策定し、地域福祉活動をさらに活性化し効果的なものとしていきたいと思いをします。

より安心な暮らしのできる地域づくりに貢献していきたいと思いをします。

令和 2年 5月

立岩地区社会福祉協議会

会長 篠原 一正

■ 立岩地区の自然と歴史～自然豊かな立岩地区～

立岩は、高縄山の北側一帯に位置し、立岩川上流の本流・支流沿いに、各集落が点在しています。集落は、標高 40m くらいから 270m くらいまで広がり、集落の中心部は標高 100m くらいにあり、急傾斜地が多い地域です。

高縄山麓の北西に、米之野～中村～猿川～滝本～善応寺への断層があり、花崗岩がマグマから冷えてできるペグマタイト（石英・長石・雲母）が確認でき、古くは庄府の立岩鉱山・米之野の宝坂鉱山などで採掘されていました。

歴史は古く、その痕跡を残しており、1977 年には才之原小山田地域で縄文時代のものと思われる土器が発掘されています。また、散在し明らかにされてはいませんが、才之原西ノ谷地域や尾儀原や猿川に古墳群も見られています。

村落の形成は、平安時代後期から鎌倉時代・室町時代にかけて、豪族河野一族の展開した山城・砦に影響されながら進化したと思われ、高縄城を核に、日高城（中村）、神途城（猿川）のほか、荻尾山砦（中村・猿川の間）、勝根山砦（猿川と才之原の間）、柴尾山砦（猪木）高手山砦（庄府）、十九地山砦（米之野）等の出城、砦群が展開されていたようです。

江戸時代初期には、太閤検知により、村ごとの石高が確定され、村落形成が現状に近い形で形成されたと思われます。

行政区画が明確になるのは明治以降です。明治 5 年、北条村（第 11 大区）の第 4 小区（猪木・滝本・中村・猿川・院内・九川・高山・牛谷）、第 5 小区（米之野・庄府・儀式・小山田・猿川原・尾儀原・才之原・萩原）となり、明治 22 年の市町村制により、明治 23 年、12 か村が合され立岩村が誕生します。

昭和 28 年の町村合併促進法により、昭和 30 年に北条町立岩村、昭和 33 年に北条市、さらに平成 17 年（2005 年）1 月松山市と合併し現在に至ります。

学校は、明治 8 年に尾儀原村法善坊に開かれ、猿川・小山田・儀式に分校が開設されました。その後幾多の変遷を経て、明治 28 年、立岩尋常小学校となり、昭和 16 年に立岩国民学校、昭和 22 年、立岩小学校、昭和 33 年に北条市立立岩小学校、平成 17 年に松山市立立岩小学校となります。

立岩中学校は、昭和 22 年の 6・3 制導入で、立岩小学校内に設けられ、昭和 24 年に校舎ができました。昭和 41 年に統合により北条北中学校となり立岩分教場として継続するも、昭和 43 年から北条北中学校新校舎へ通学することになります。

昭和 50 年国勢調査では、人口は 488 世帯 1,942 人でしたが、令和 2 年 4 月 1 日現在推計人口は 369 世帯 778 人で、著しく少子高齢化が進んでいます。

高縄山麓、立岩川、貫之山等の豊かな自然に包まれた中、各集落の様々な行事と公民館活動など活発に行いながら、生活を営んでいます。

（一部『北条史誌』参照）

■ 立岩地区の概要

(令和2年4月1日現在地区別推計人口による)

面	積	33.62k m ² (北条市合併記念誌 2004)
人	口	778人
世帯数(1世帯当たり人口)		369世帯(2.1人)
高齢者数(高齢化率)※		443人(56.9%)
民生児童委員(主任児童委員)		5人(2人)
集落・自治会・区長会等		18か所

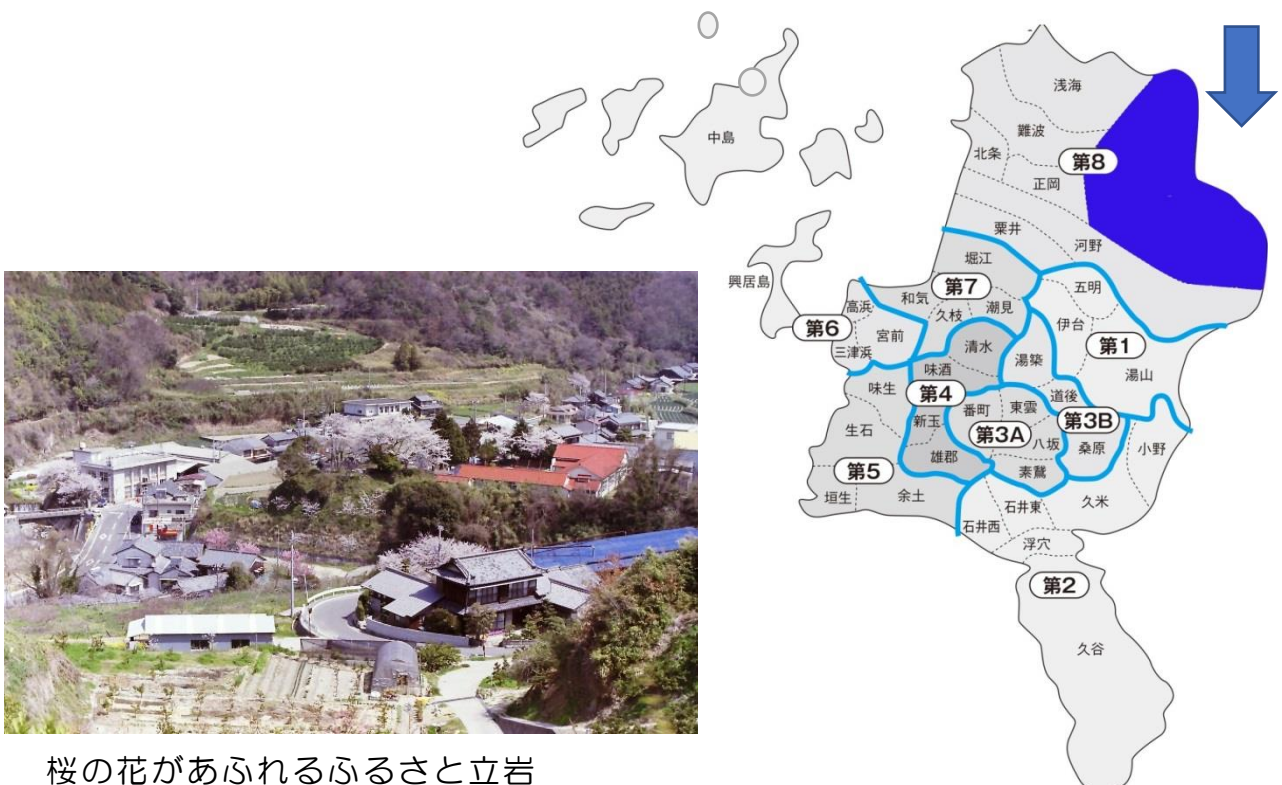
立岩地区は、松山市の40地区の中で4番目に面積の大きい地区で、高縄山の北側、立岩川上流域及びその支流に沿った18集落からなる豊かな自然に囲まれた中山間地域です。

今後ますます少子高齢化が進むことが予測され、不安な課題も多々ありますが、ふるさとを大切にする住民の熱意と結束はとても強い地域です。

そうした地域性を活かして、住民参加の運動会、文化祭や5月のツツジ祭りや8月の夏祭りなど交流活動の機会を通じて、助けあい精神を育み安心して暮らせる地域づくりが進められています。

※高齢者数(高齢化率) 令和2年4月1日付けの推計人口に同日の住民基本台帳登録人口の高齢化率を乗じて得た推計値

立岩



桜の花があふれるふるさと立岩

■ 立岩地区社会福祉協議会の概要

主な活動拠点	立岩公民館
事務拠点	立岩公民館
構成メンバー (定数)	会長(1)・副会長(2)・事務局長(1)・会計(1) 理事(12)・評議員(27) 監事(2)・顧問(2) 援護部長(1)・啓発調査部長(1) 地域福祉活動計画策定委員長 ※立岩地区社会福祉協議会会則による
理事会等の開催	理事会(年5回)・評議員会(年1回)
構成関係団体	民生児童委員協議会・公民館・区長会・公民館運営審議会・交通安全協会・防犯協会・小学校・JA えひめ中央・福祉施設・日赤奉仕団・青少年健全育成協議会・学識経験者など
主な自主事業	地域福祉サービス事業、福祉学習事業、3世代交流会、給食サービス(弁当配布)ねたきり・独居高齢者訪問、高齢者介護施設訪問、福祉だより作成、ふれあい・いきいきサロン事業ほか
サロン数	ふれあい・いきいきサロン1か所、自主サロン4か所
地域福祉活動計画の策定状況	第1期計画(令和2年度策定) ■計画期間 令和2年度から令和6年度(5年間) ■基本理念 よりそい、気配り、支え合い 「笑顔あふれる花垣の里」

■ 立岩地区の行事・活動の概要

立岩地区は、人口の減少、少子化、高齢化が著しく進行する中、つつじ祭り、夏祭りをはじめ、公民館や小学校の行事、各地区の行事に加え、きめ細やかな社会福祉活動など、多くの催事、活動が行われています。それらの行事に多くの人々がかかわり、参加し、地域コミュニティの場、住民交流の機会になっています。

その活動を支えているのが、区長をはじめとする各機関・団体の相互の連携、良好な協力体制です。平成30（2018）年には、立岩地区まちづくり協議会が設立され、地域行事・活動の活性化へのサポート環境がさらに前進しました。

その一方で、高齢化の進行等による、世話役・参加者の確保に苦戦が予想されるほか、交通弱者の増加が予想され、地域活動の支障要因の一つになりつつあります。

また、地区ごとの行事については、草刈り、道路補修などの共同作業のほか、秋祭り、弓祈祷、いのこ、大般若など多くの伝統行事が継承されていますが、これらも継承が困難となる状況が、近い将来起こる状況にあります。



立岩つつじまつり



立岩夏まつり



高縄山麓市場



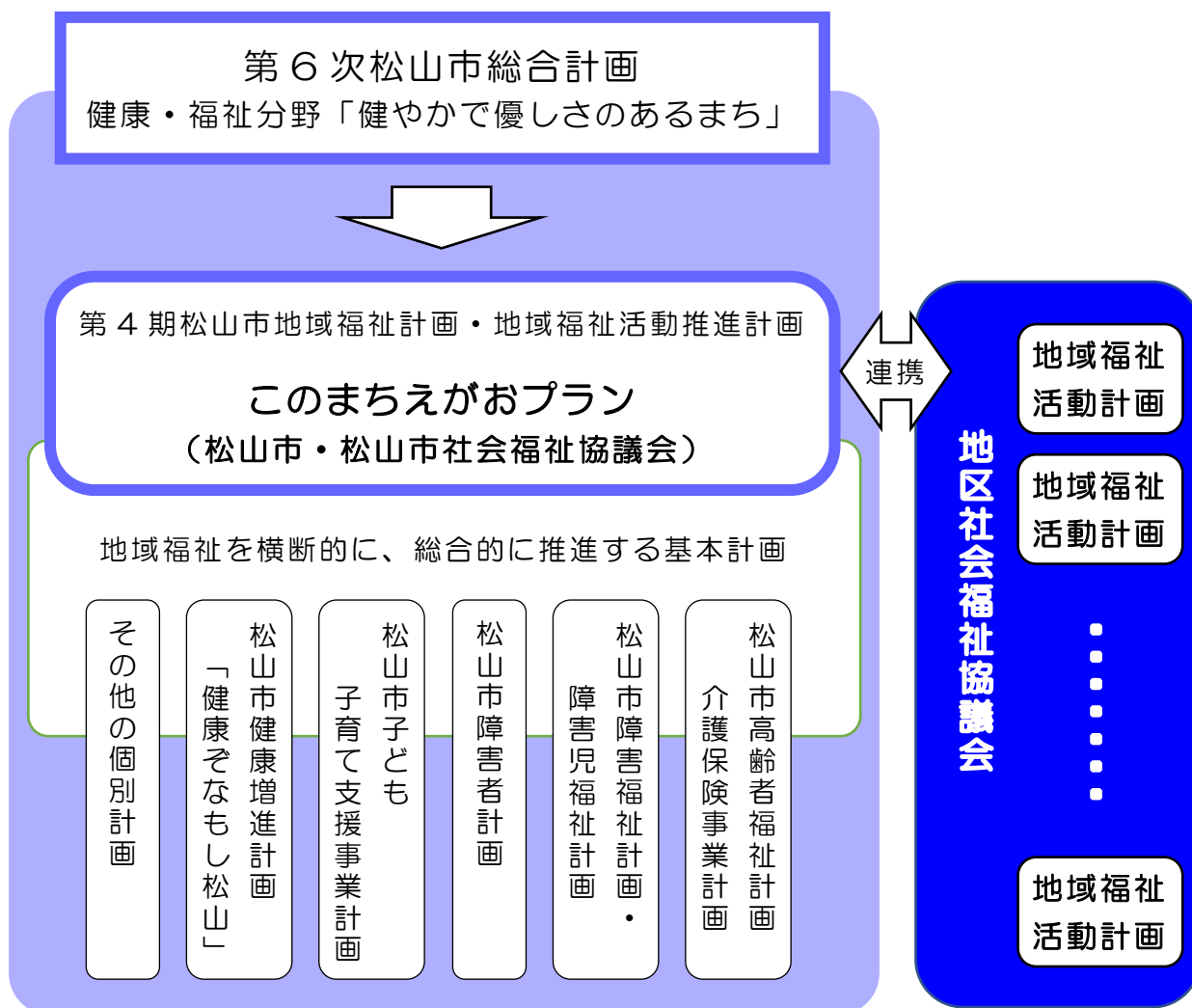
立岩地区防災訓練

立岩地区地域福祉活動計画

■ 立岩地区地域福祉活動計画の位置づけ

従来、松山市の「地域福祉計画」（愛称「ささえあいプラン」）と松山市社会福祉協議会の「地域福祉活動推進計画」（愛称「なもしプラン」）は、地域福祉の目指すべき方向性を共有し、相互に補完・補強し合うものとして策定されてきましたが、4期計画の策定に当たり、松山市と松山市社会福祉協議会をはじめ、住民組織や様々な関係団体、住民一人ひとりがより一層連携・協働できるようにするため、これらの計画を一体的に策定することとし、平成31年3月、松山市地域福祉計画・地域福祉活動推進計画（愛称「このまちえがおプラン」）が策定されました。

「立岩地区地域福祉活動計画」は、「このまちえがおプラン」と連携し、地域の特性に応じた効果的な地域福祉を推進する指針として策定するものです。



■ 計画の期間

計画期間は、令和 2 年度（2020 年度）から令和 6 年度（2024 年度）までの 5 年間とします。ただし、計画期間中であっても社会、地域の状況が大きく変わったときなど、必要に応じて見直すものとします。

■ 立岩地区の将来像～地区社会福祉協議会が目指すもの～

1. 現状活動を維持継続するための策を講じながら、さらなる高齢化が進展する地域に対応する体制づくりを目指します。
2. 高齢化、交通弱者の増加、各活動の世話役の不足、参加者の減少等、多くの課題解消に向け、世代継承、情報収集と共有化、関係機関や団体との連携強化により、地域の一体感のある福祉環境の構築を目指します。
3. 近所づきあい、地域コミュニケーションのよさに基づく、互いの気配り、支え合いにより笑顔で過ごせる地域社会づくりに貢献していきます。
4. 独居高齢者・高齢者夫婦世帯とその家族への必要な支援（情報と福祉サービスの提供）ができる行政・福祉業者等との連携体制の構築を目指します。
5. 住民の福祉活動への関心と理解を促進し、地域福祉の推進を目指します。

■ 基本理念

高齢化が進む社会の中で、近所・地域内でのお互いの気配り、支え合いの地域づくり、福祉サービス事業・福祉学習等を活用した健康の維持、増進活動等を通じて、会話が満ちあふれ、笑顔で過ごせる地域社会づくりを目指すことを念頭に置き、本地域福祉活動計画の基本理念を、次のとおり、設定します。

—よりそい、気配り、支え合い— 笑顔あふれる花垣の里

メモ

「花垣の里」とは

※参考1 『愛媛県史』

(前略)『予陽郡郷俚諺集』風早郡に…「紀貫之墓、猿川村の内、じんどうの原にあり、伝へて曰、又宇和郡土居村甲森城主紀実平都より下向の時、猿川にて病死す、遺骨をば土居村に送り、下谷と云所にて一社に祭けるよし、彼村に申伝へたり、此所にて貫之といへるは、実平の事を聞惑ひて伝へけるにや、一説に貫之は土佐国に配流とも、又土州知行ともいふ、分明ならず、貫之の墓の近所に花垣の里といふあり、貫之の歌に「今日祭る神の心やなびくらん卯月に匂ふ花垣の里」…(後略)

※参考2 愛媛県神社庁ホームページ

神社名 紀貫之社(きのつらゆきしゃ)
由緒 住吉高縄山頂に奉斎。養和元年5月河野通信が此の地に奉遷再建。紀貫之来遊伝説あり。よって当地を「花垣の里」という。

※参考3 『北条市誌』立岩小学校の沿革

明治11年の群区町村編成法の施行に伴い、連合村ごとに次の3校を設立す。



紀貫之社

※参考4

立岩中学校校歌

作詞 重見貞一

作曲 清家嘉寿恵

(立岩中学校は昭和41年北条北中学校に統合)

上げ南の 空高く
み雪かがよう 高縄を
春はさみどり 秋されば
紅葉ほほ笑む この山の
眺めゆたけき 花垣に
いざ学ばなん 我ら今

学校名	所在地
花垣小学校	才之原村
九容小学校	小山田村
有恒小学校	儀式村

■ 活動方針

今後、ますます、高齢化の進展が想定される地域において、将来にわたって福祉活動を継続、実施していくため、福祉活動の環境整備を進めるとともに、現状に対応した活動内容を模索します。

1. 社会福祉活動への理解促進と連携づくり

住民・関係機関や団体に地域福祉活動への関心と理解を促すための啓発活動を行います。

2. 既存活動を継続発展させるための環境整備

既存の活動の維持継続と発展を目指し、世話役・リーダーの育成や参加者増加策を模索・策定します。

3. 70歳代、80歳代の増加への対応

今後70歳代、80歳代の人口増加に対応するための課題の抽出と対応策の策定を行います。

■ 重点課題

1. 立岩地区社会福祉活動環境の基盤整備

- ① 地区の現状把握と活動への反映
- ② 啓発活動による住民の理解深耕
- ③ 活動継続への人材育成・確保
- ④ 立岩地区の関連機関・団体との連携強化
- ⑤ 福祉活動情報の収集と活動への反映

2. 在宅福祉・介護予防活動の環境整備

- ① 関係機関との情報交換と共有
行政・福祉業者・包括センター（迅速な専門家への要請）
- ② 民生児童委員活動（安否確認・給食サービス・施設訪問等）の環境整備
関連団体と連携
地元・近隣者への理解促進・協力要請
- ③ 健康増進活動・交流機会づくりの参加促進と継続
参加者増進・世話役（リーダー）の育成
参加意識を高める魅力あるメニューの開発

3. 70歳代・80歳代の増加への対応

- ① 想定される課題設定と対応策の検討
- ② 情報収集と活動計画への反映

■ 基本福祉活動計画

活動項目	立岩地区社協の基盤整備
活動目標	現状の把握と対応・共有化 自助・共助の風土づくり 現状の把握と課題対応 各種活動の強化、充実
具体的施策	各種会議の開催
	住民の理解深耕を目指す広報活動
	人材育成、リーダーづくり
	福祉活動の環境整備のための情報収集と共有化
	情報共有化による関係組織との連携
	各種研修・会議への参加

活動項目	健康増進を図る活動の充実
活動目標	健康増進コミュニティの場づくり 生涯学習の場づくり 各種活動の強化、充実
具体的施策	いきいき健康教室の参加者増員対策、魅力あるメニュー開発
	いきいきサロンの参加者増員対策、魅力あるメニュー開発
	サロン研修会の実施、充実
	松山週イチ体操の参加者増員対策

活動項目	在宅福祉活動の充実
活動目標	民生児童委員等の知識・技術の習得 独居高齢者の現状把握と対応 各種活動の強化、充実
具体的施策	民生児童委員自己啓発と研修会等への参加の促進
	独居高齢者等の安否確認作業
	給食サービス（花垣弁当）
	高齢者向けのおやつ作り講習会
	敬老訪問
	敬老の日記念品配付事業

活動項目	関係機関と連携活動の充実
活動目標	活動を通じた地域コミュニケーションの構築 福祉活動の関係機関・団体との連携体制づくり 各種活動の強化、充実
具体的施策	3世代交流餅つき大会
	小学校清掃交流事業
	立岩地区防災訓練
	施設訪問
	共同募金活動
	各種研修・行事への参加

主な活動の記録



いきいき健康教室



3世代交流もちつき大会



松山週イチ体操



施設訪問



立岩小学校清掃交流事業



ふれあい・いきいきサロン
たけのこ（猿川原）



自主サロン
サロンどんぐり（儀式）



自主サロン
からたちの会（中村）

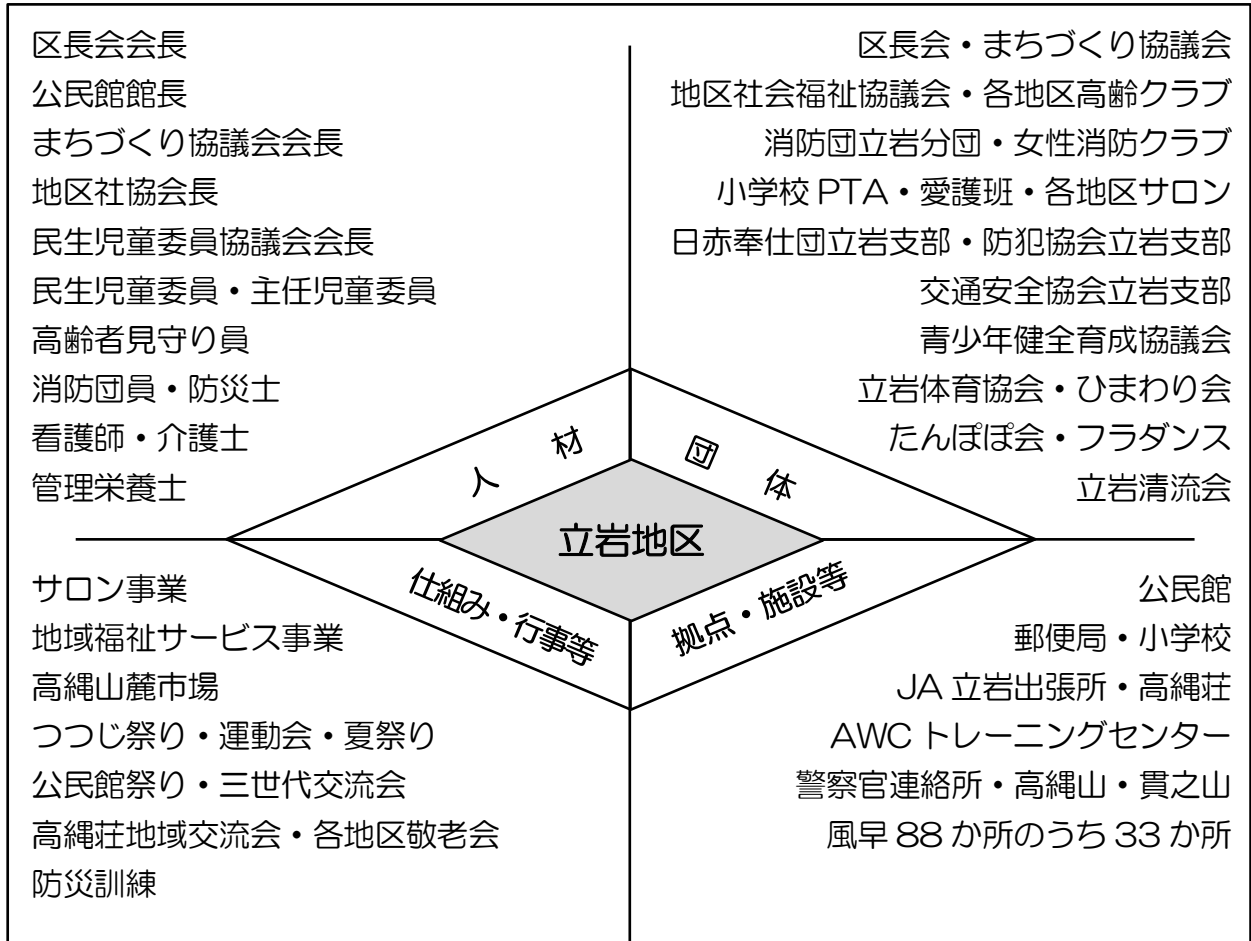


自主サロン
コスモス会（小山田）



自主サロン
憩いの部屋（才之原）

この「地域福祉台帳」は、令和元年10月に各区長さんから回答をいただいたアンケート調査に基づき、人材、団体、仕組・行事、拠点・施設等の資源（人口・世帯数を含む）をまとめたものです。今後も随時新たな情報の追加・変更等を行います。

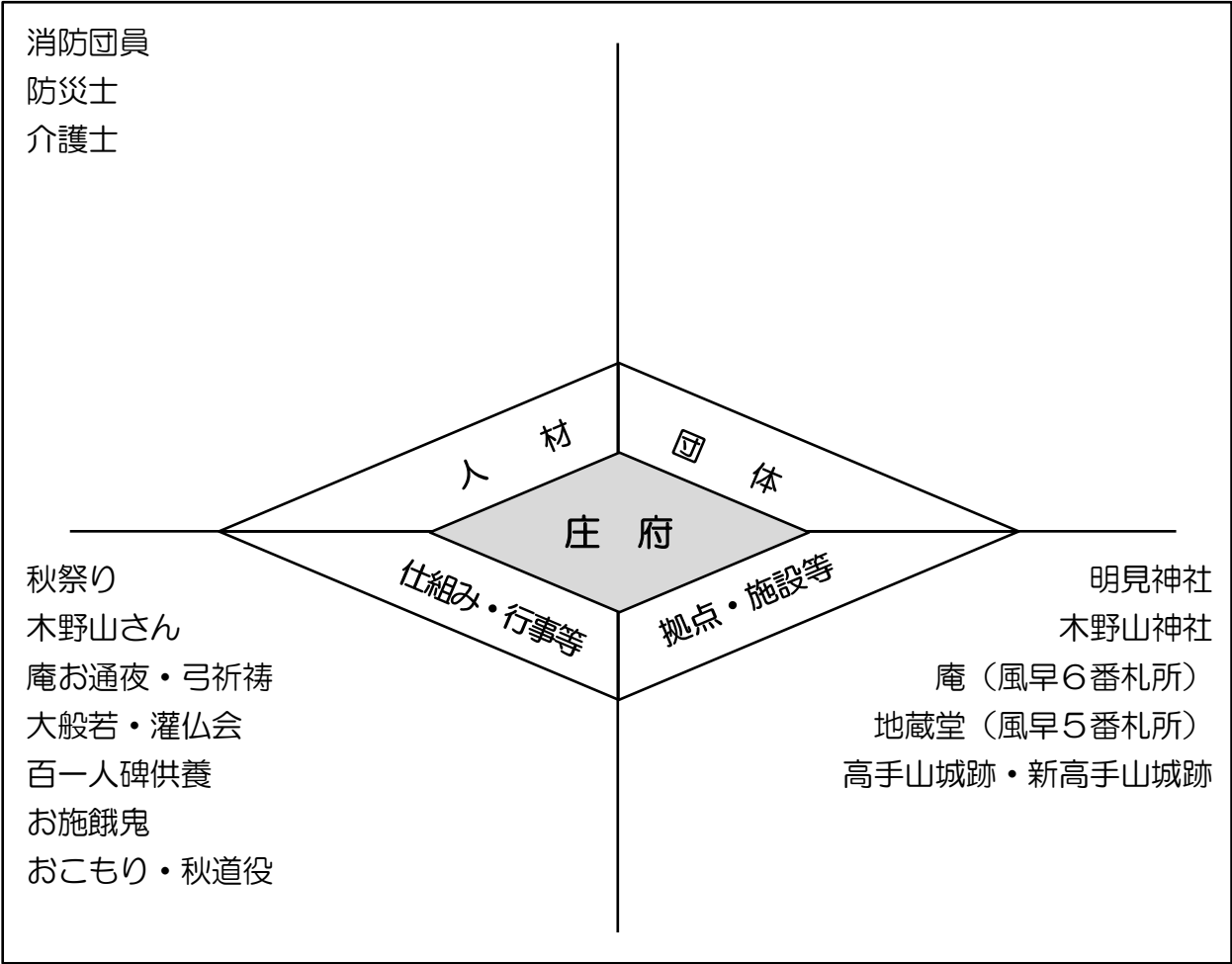


■地域の概要

面	積	33.62 km ²	※端数調整のため合計不一致
人	口	682人	
世	帯	307世帯	
内 訳	1世帯当たり人口	2.2人	
	65歳以上人口	410人	60.1%
	75歳以上人口	216人	31.7%
	65歳以上独り暮らし	73人	10.7%
	75歳以上夫婦世帯	37世帯	12.1%
	65歳未満障害者数	5人	0.7%

(令和元年10月1日現在)

庄府地区福祉台帳

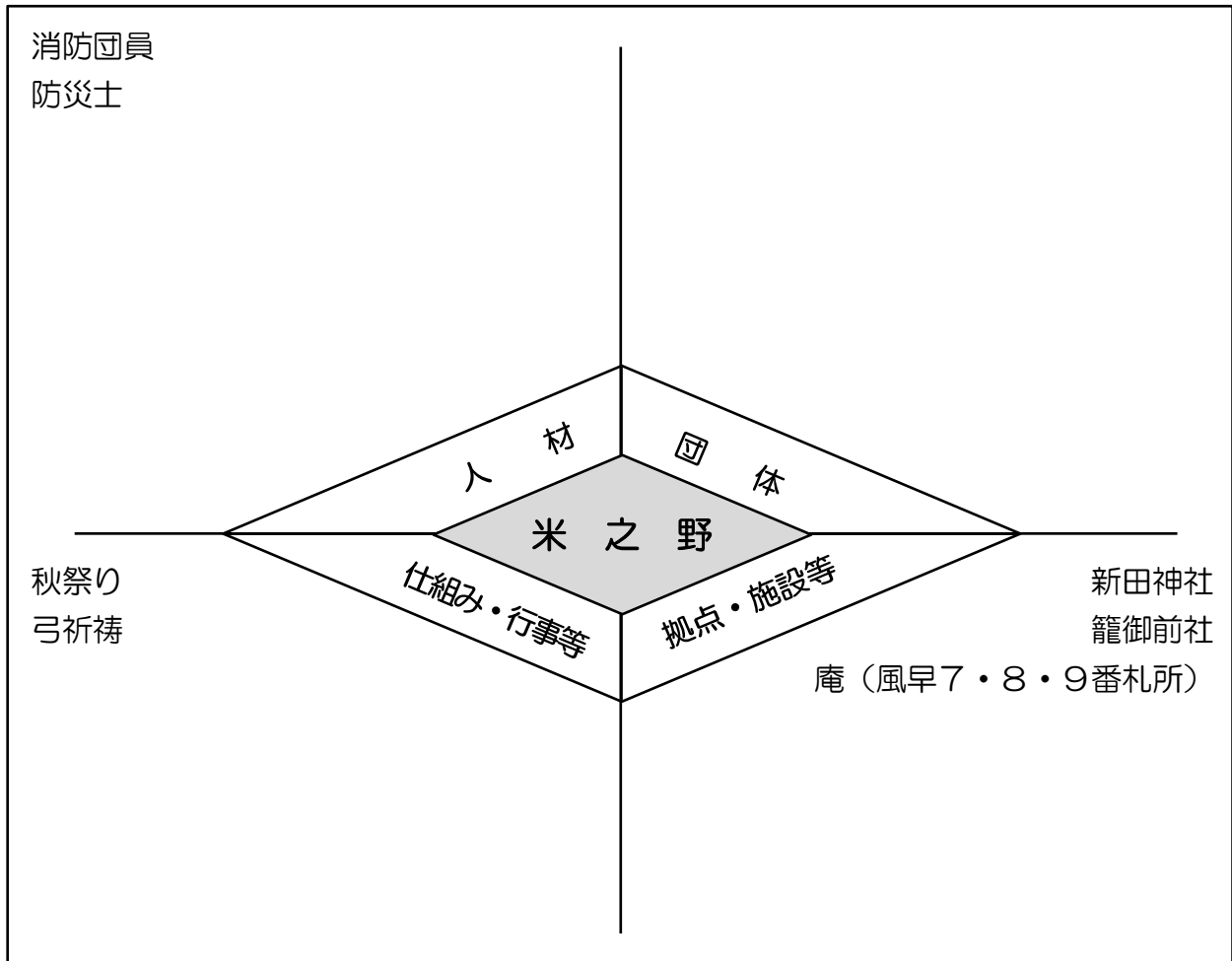


■地域の概要

面	積	3.91 km ²	
人	口	33人	
世帯	数	17世帯	
内訳	1世帯当たり人口	1.9人	
	65歳以上人口	26人	78.8%
	75歳以上人口	14人	42.4%
	65歳以上独り暮らし	7人	21.2%
	75歳以上夫婦世帯	2世帯	11.8%
	65歳未満障害者数	1人	3.0%

(令和元年 10月 1日現在)

米之野地区福祉台帳

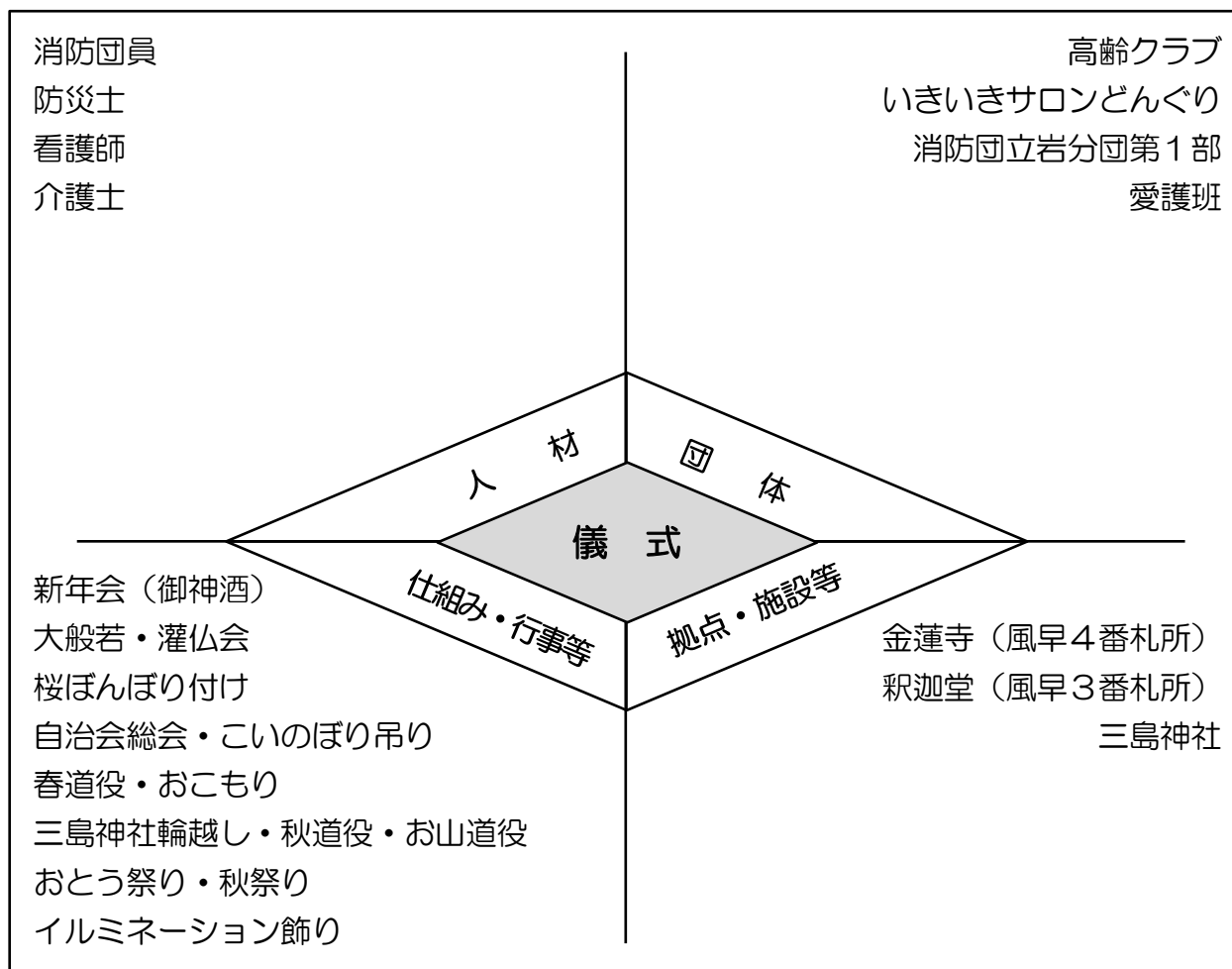


■地域の概要

面	積	8.06 km ²	
人	口	38人	
世	帯	20世帯	
内 訳	1世帯当たり人口	1.9人	
	65歳以上人口	30人	78.9%
	75歳以上人口	25人	65.8%
	65歳以上独り暮らし	9人	23.7%
	75歳以上夫婦世帯	6世帯	30.0%
	65歳未満障害者数	0人	0.0%

(令和元年10月1日現在)

儀式地区福祉台帳

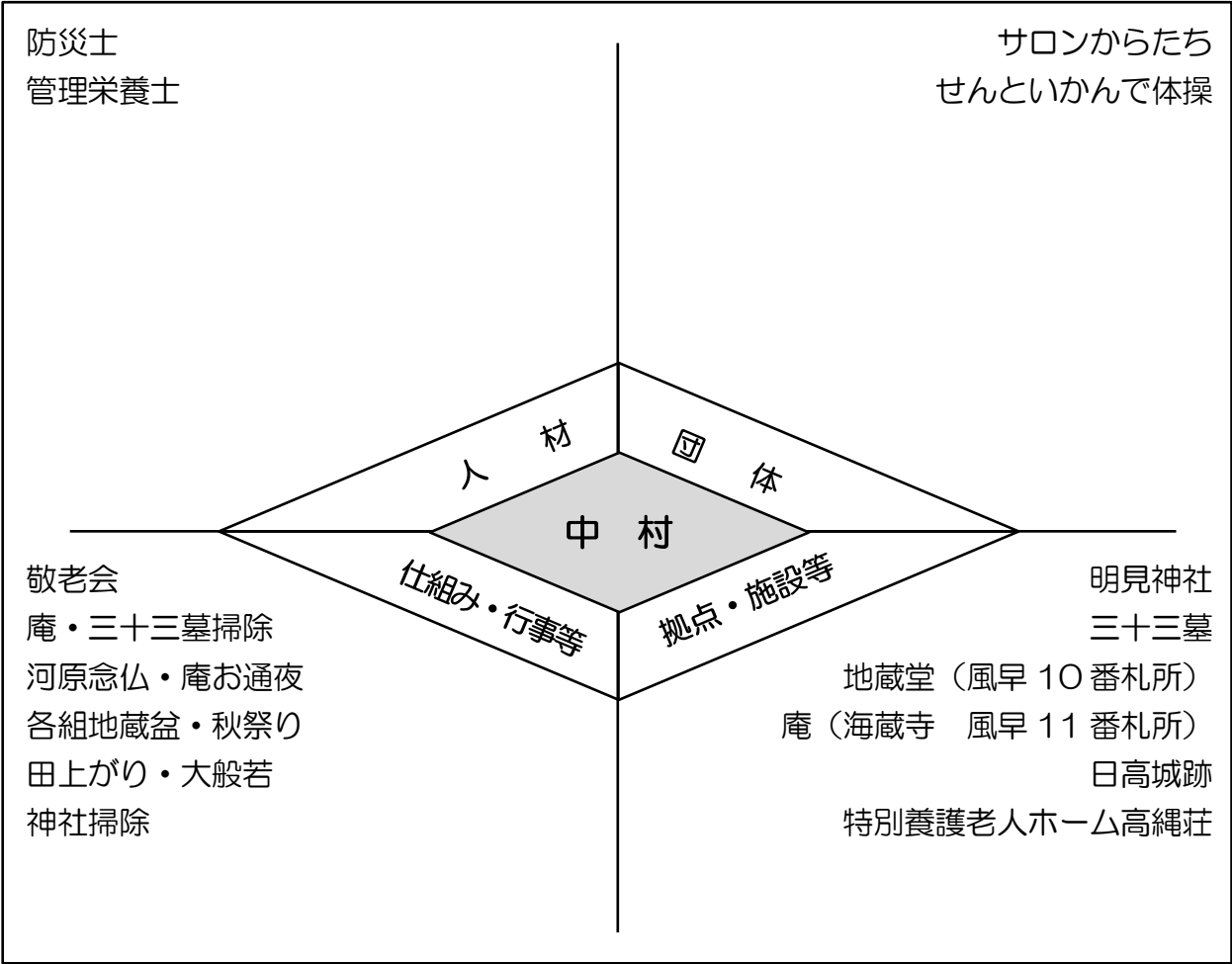


■地域の概要

面	積	1.71 km ²	
人	口	84人	
世帯	数	34世帯	
内	1世帯当たり人口	2.5人	
	65歳以上人口	41人	48.8%
	75歳以上人口	23人	27.4%
	65歳以上独り暮らし	4人	4.8%
訳	75歳以上夫婦世帯	2世帯	5.9%
	65歳未満障害者数	1人	1.2%

(令和元年10月1日現在)

中村地区福祉台帳

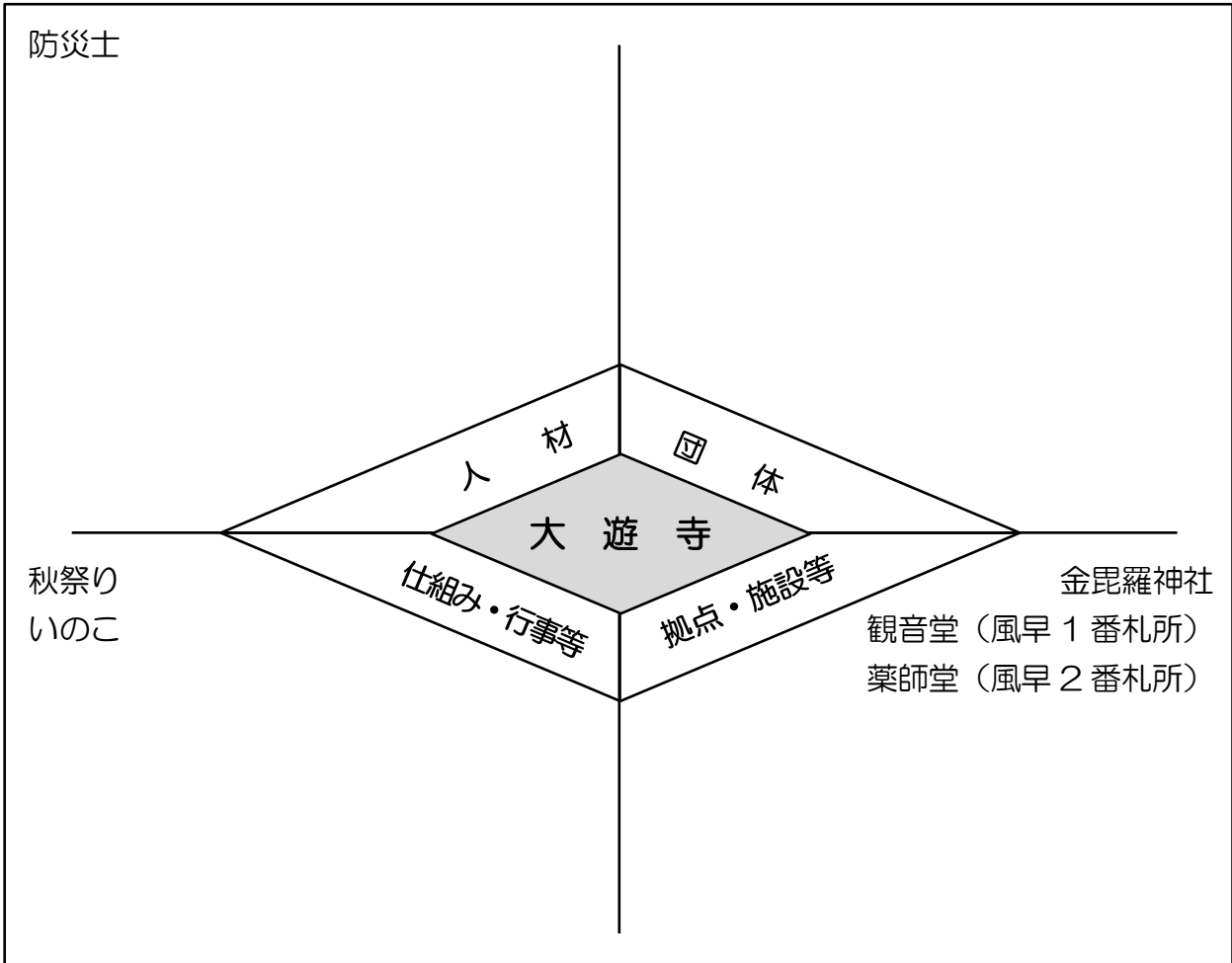


■地域の概要

面	積	2.49 km ²	
人	口	29人	
世	帯数	16世帯	
内訳	1世帯当たり人口	1.8人	
	65歳以上人口	21人	72.4%
	75歳以上人口	10人	34.5%
	65歳以上独り暮らし	7人	24.1%
	75歳以上夫婦世帯	1世帯	6.3%
	65歳未満障害者数	0人	0.0%

（令和元年 10月 1日現在）

大遊寺地区福祉台帳

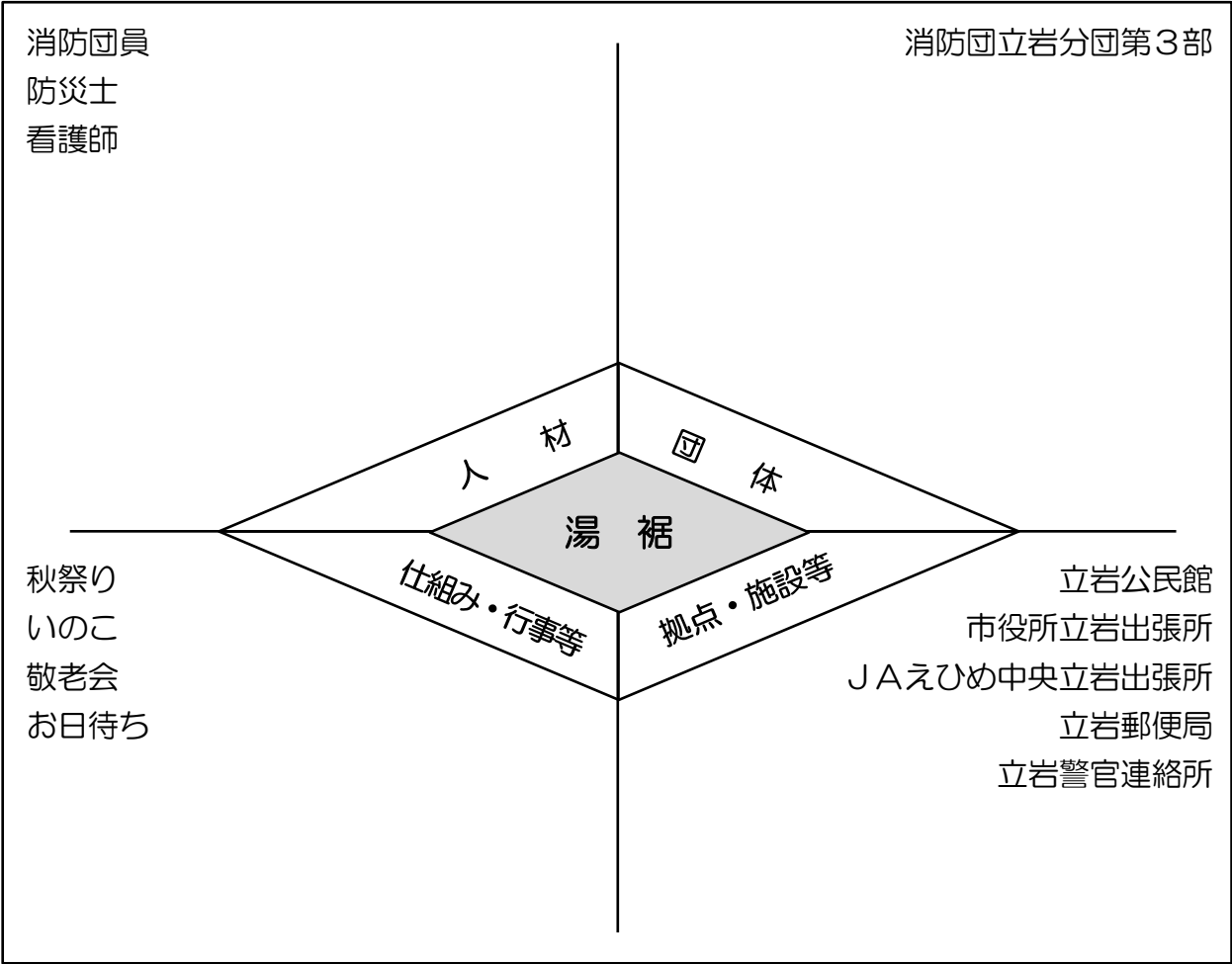


■地域の概要

面	積	3.90 km ²	※猿川地区合計
人	口	44 人	
世	帯	17 世帯	
内 訳	1 世帯 当たり 人口	2.6 人	
	65 歳 以上 人口	25 人	56.8%
	75 歳 以上 人口	8 人	18.2%
	65 歳 以上 独り暮らし	2 人	4.5%
	75 歳 以上 夫婦 世帯	3 世帯	17.6%
	65 歳 未 満 障 害 者 数	1 人	2.3%

(令和元年 10 月 1 日現在)

湯裾地区福祉台帳



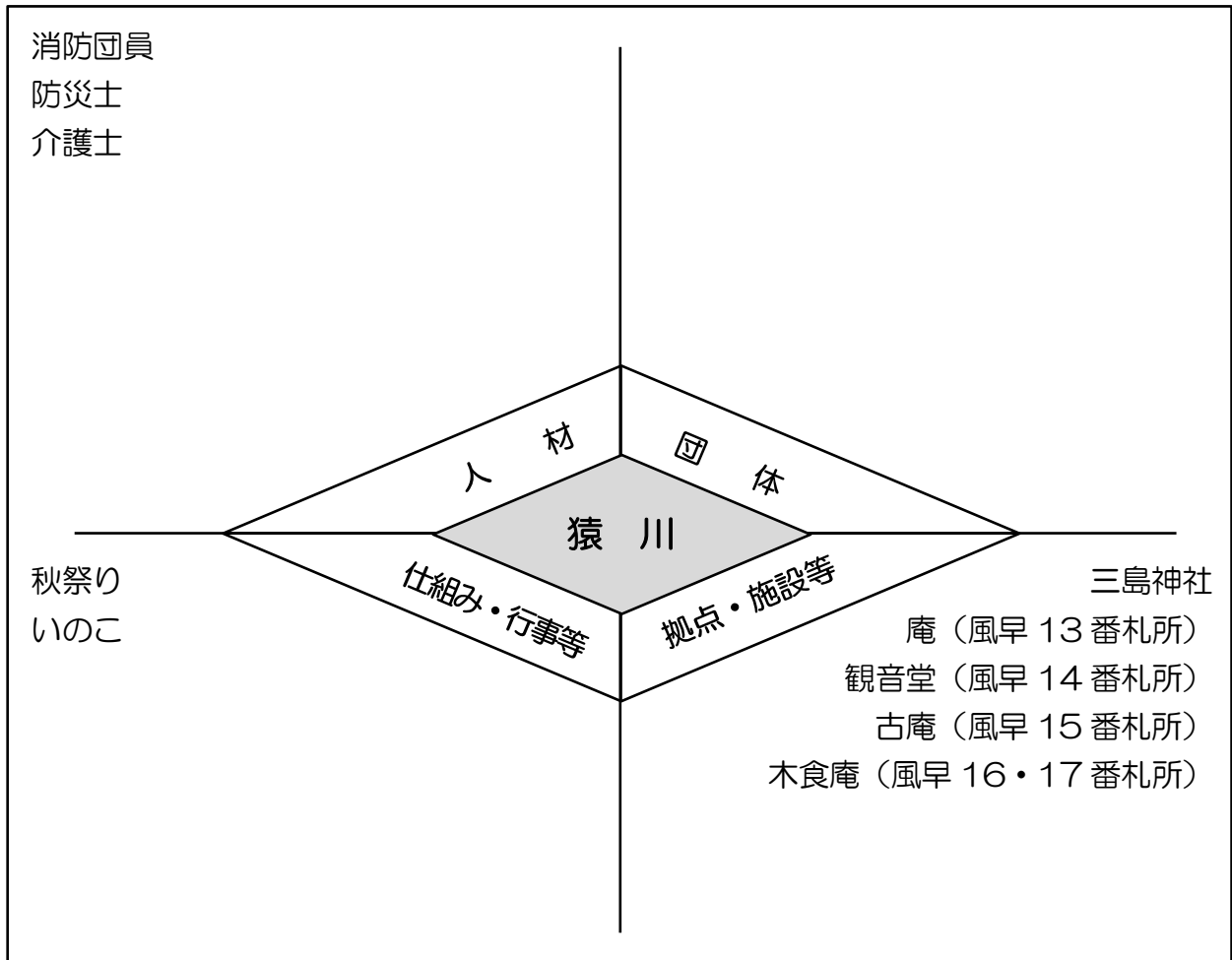
■地域の概要

面	積	3.90 km ²	※猿川地区合計
人	口	43人	
世帯	数	23世帯	
内訳	1世帯当たり人口	1.9人	
	65歳以上人口	24人	55.8%
	75歳以上人口	14人	32.6%
	65歳以上独り暮らし	5人	11.6%
	75歳以上夫婦世帯	1世帯	4.3%
	65歳未満障害者数	1人	2.3%

(令和元年 10月 1日現在)

猿川地区福祉台帳

(猿川上・猿川下)

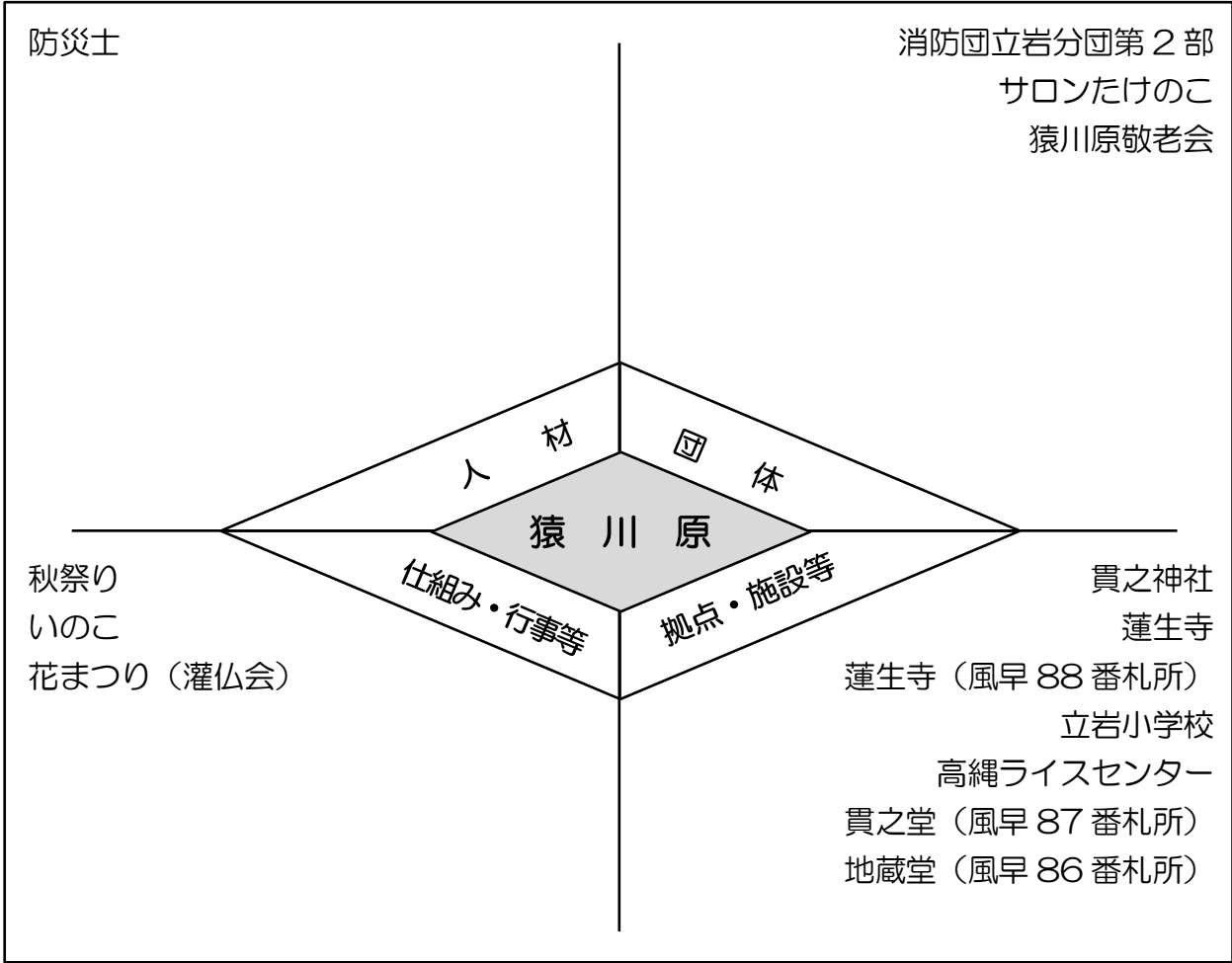


■地域の概要

面	積	3.90 km ²	※猿川地区合計
人	口	71 人	
世	帯	31 世帯	
内 訳	1 世帯当たり人口	2.3 人	
	65 歳以上人口	42 人	59.2%
	75 歳以上人口	19 人	26.8%
	65 歳以上独り暮らし	8 人	11.3%
	75 歳以上夫婦世帯	3 世帯	9.7%
	65 歳未満障害者数	0 人	0.0%

(令和元年 10 月 1 日現在)

猿川原地区福祉台帳



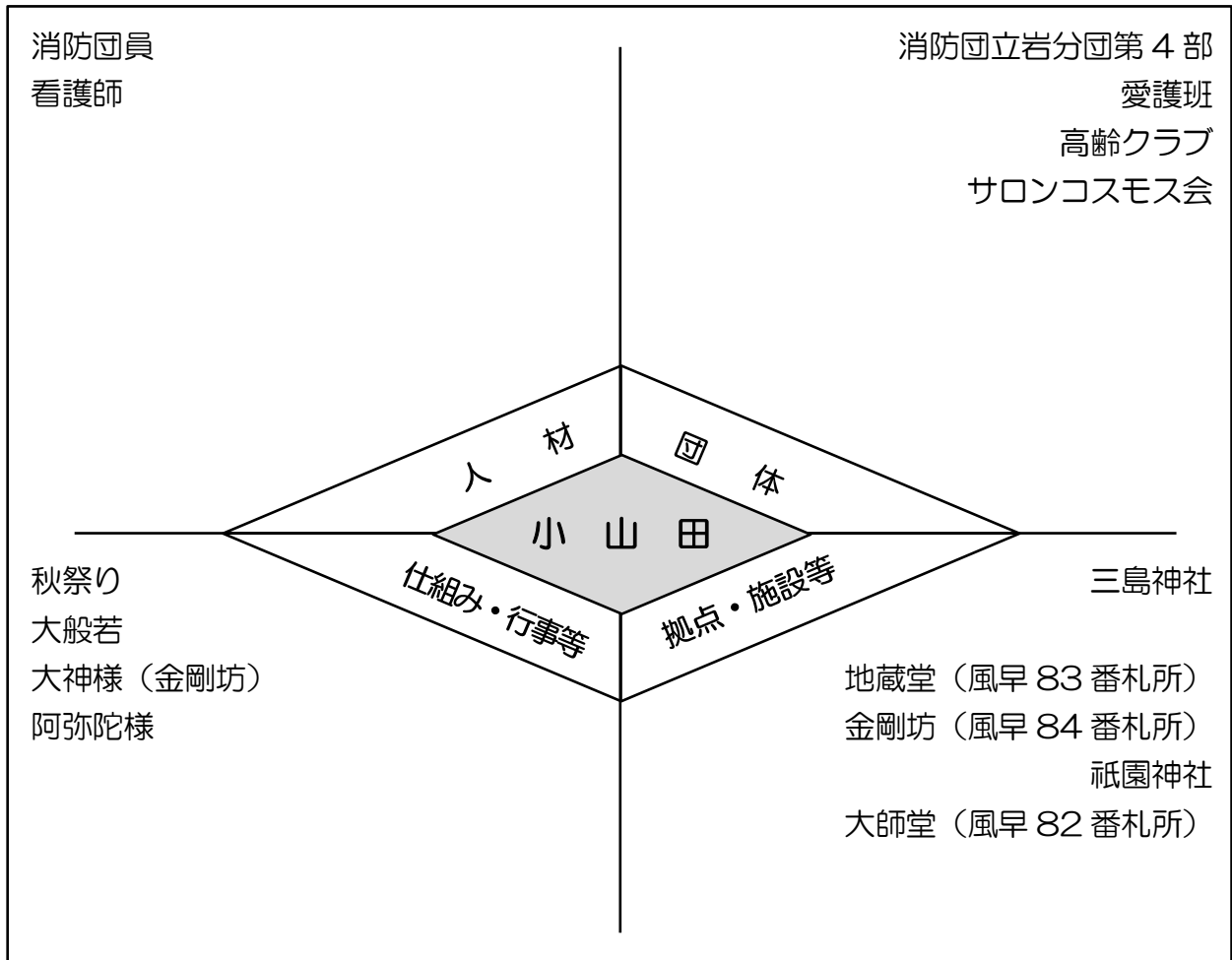
■地域の概要

面	積	0.73 km ²	
人	口	58 人	
世	帯	数	25 世帯
内 訳	1 世帯当たり人口	2.3 人	
	65 歳以上人口	32 人	55.2%
	75 歳以上人口	17 人	29.3%
	65 歳以上独り暮らし	4 人	6.9%
	75 歳以上夫婦世帯	2 世帯	8.0%
	65 歳未満障害者数	0 人	0.0%

（令和元年 10 月 1 日現在）

小山田地区福祉台帳

(坊田・小山田上・小山田中・小山田下)

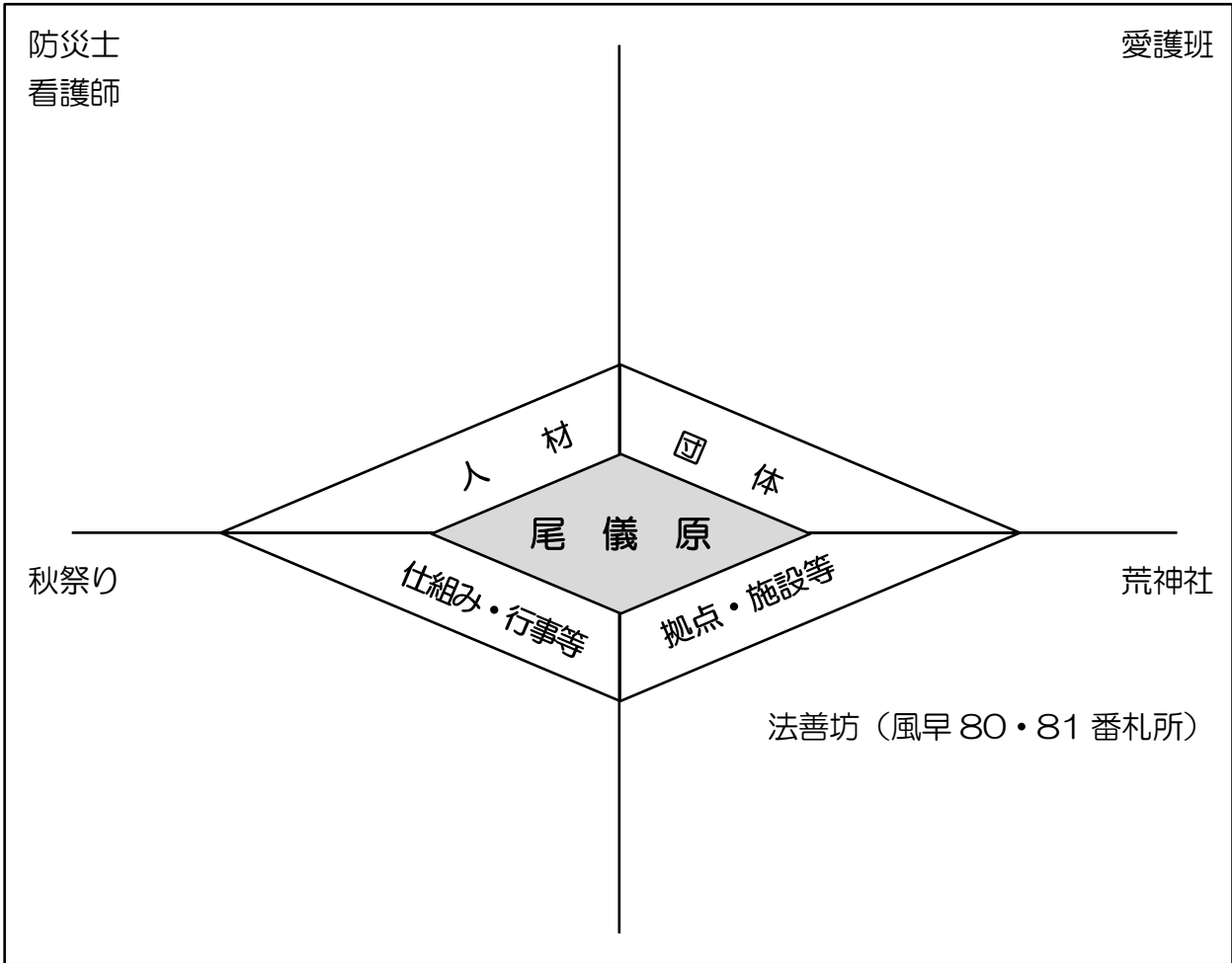


■地域の概要

面	積	5.22 km ²	
人	口	118人	
世	帯	50世帯	
内	1世帯当たり人口	2.4人	
	65歳以上人口	78人	66.1%
	75歳以上人口	42人	35.6%
	65歳以上独り暮らし	9人	7.6%
訳	75歳以上夫婦世帯	11世帯	22.0%
	65歳未満障害者数	0人	0.0%

(令和元年10月1日現在)

尾儀原地区福祉台帳



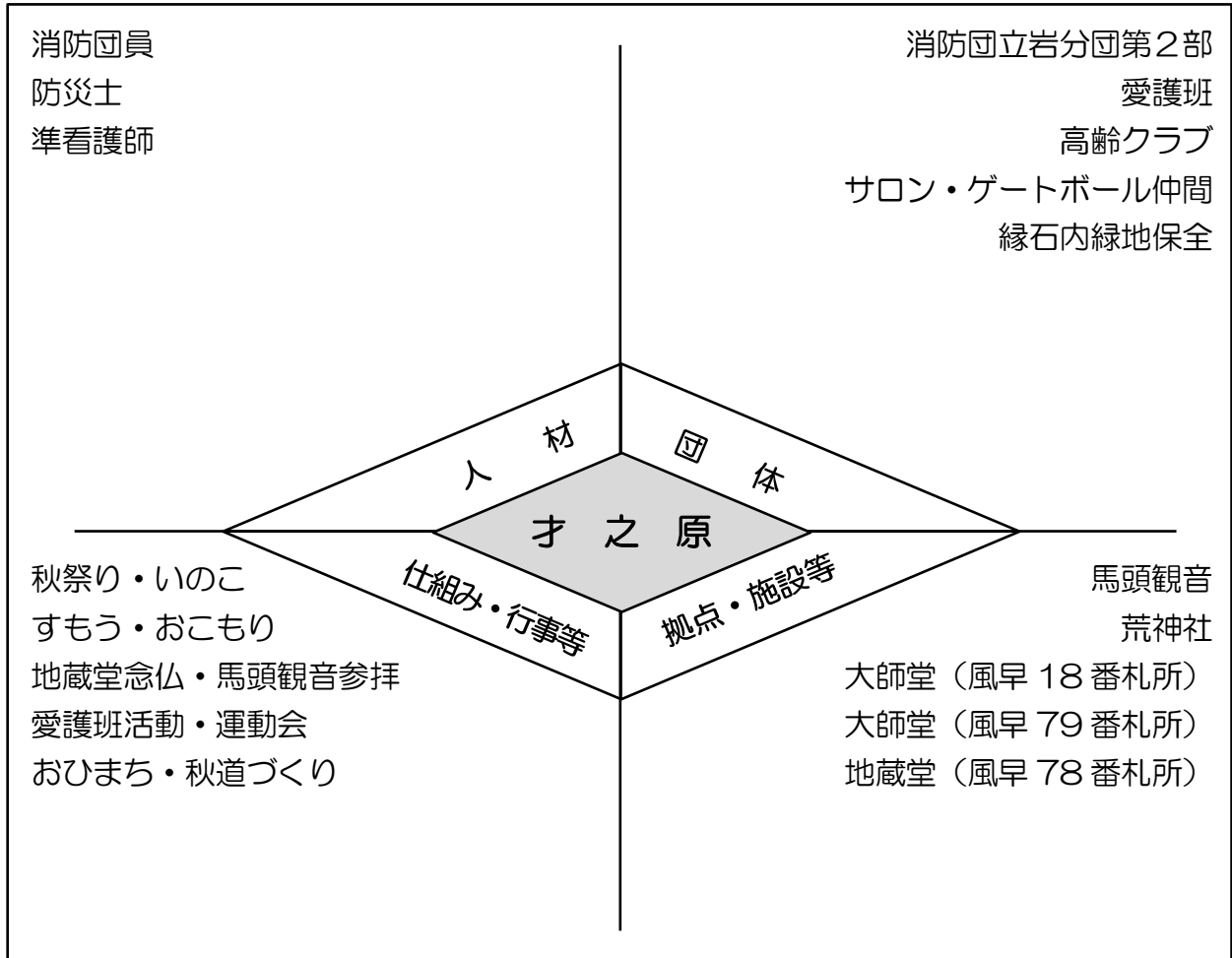
■地域の概要

面	積	1.25 km ²	
人	口	38 人	
世	帯	16 世帯	
内 訳	1 世帯 当たり 人口	2.4 人	
	65 歳 以上 人口	20 人	52.6%
	75 歳 以上 人口	11 人	28.9%
	65 歳 以上 独り 暮らし	4 人	10.5%
	75 歳 以上 夫婦 世帯	2 世帯	12.5%
	65 歳 未 満 障 害 者 数	0 人	0.0%

(令和元年 10 月 1 日現在)

才之原地区福祉台帳

(才之原上・才之原下)

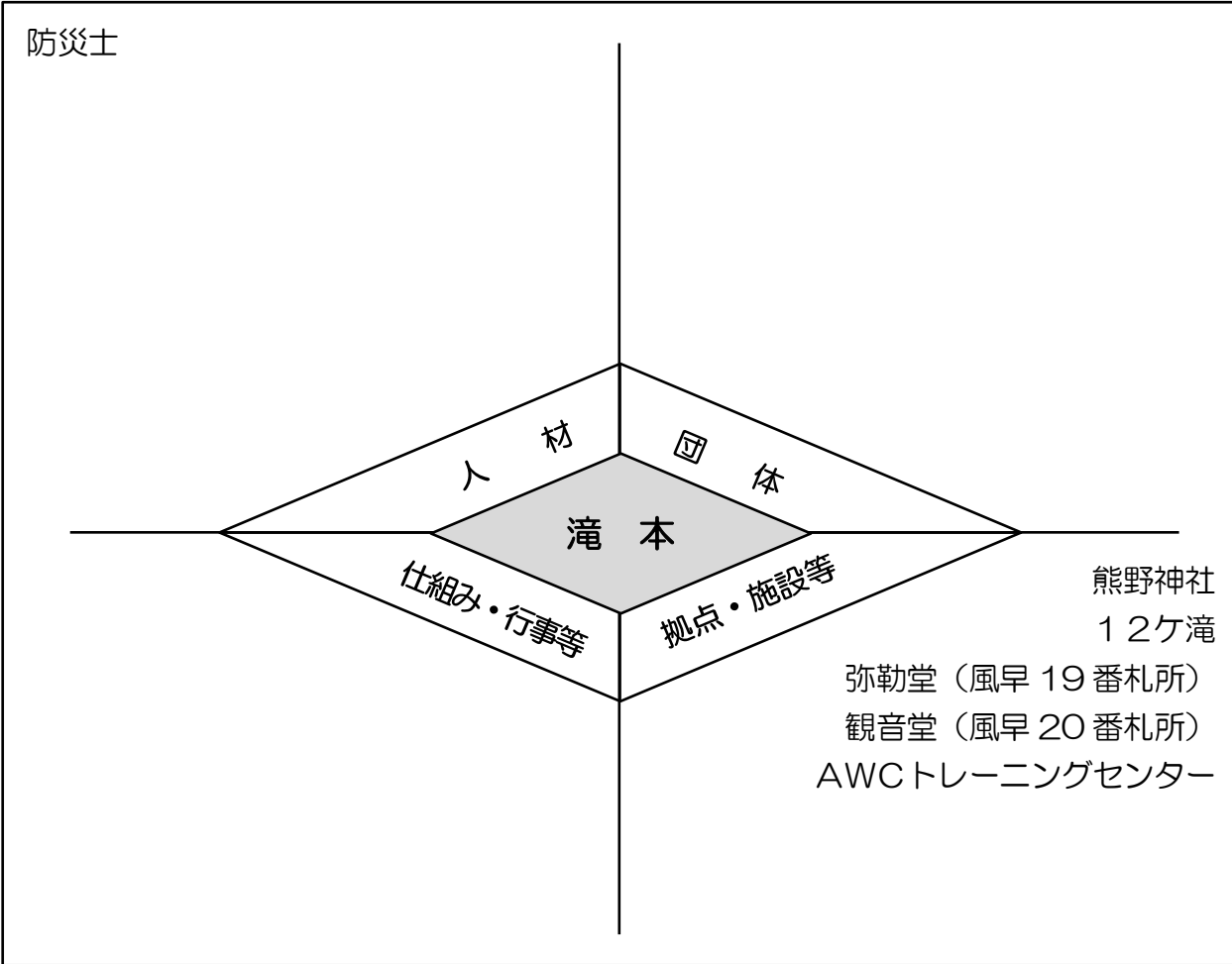


■地域の概要

面	積	1.74 km ²	
人	口	113 人	
世	帯	48 世帯	
内 訳	1 世帯 当たり 人口	2.4 人	
	65 歳 以上 人口	59 人	52.2%
	75 歳 以上 人口	26 人	23.0%
	65 歳 以上 独り 暮らし	7 人	6.2%
	75 歳 以上 夫婦 世帯	4 世帯	8.3%
	65 歳 未 満 障 害 者 数	1 人	0.9%

(令和元年 10 月 1 日現在)

滝本地区福祉台帳

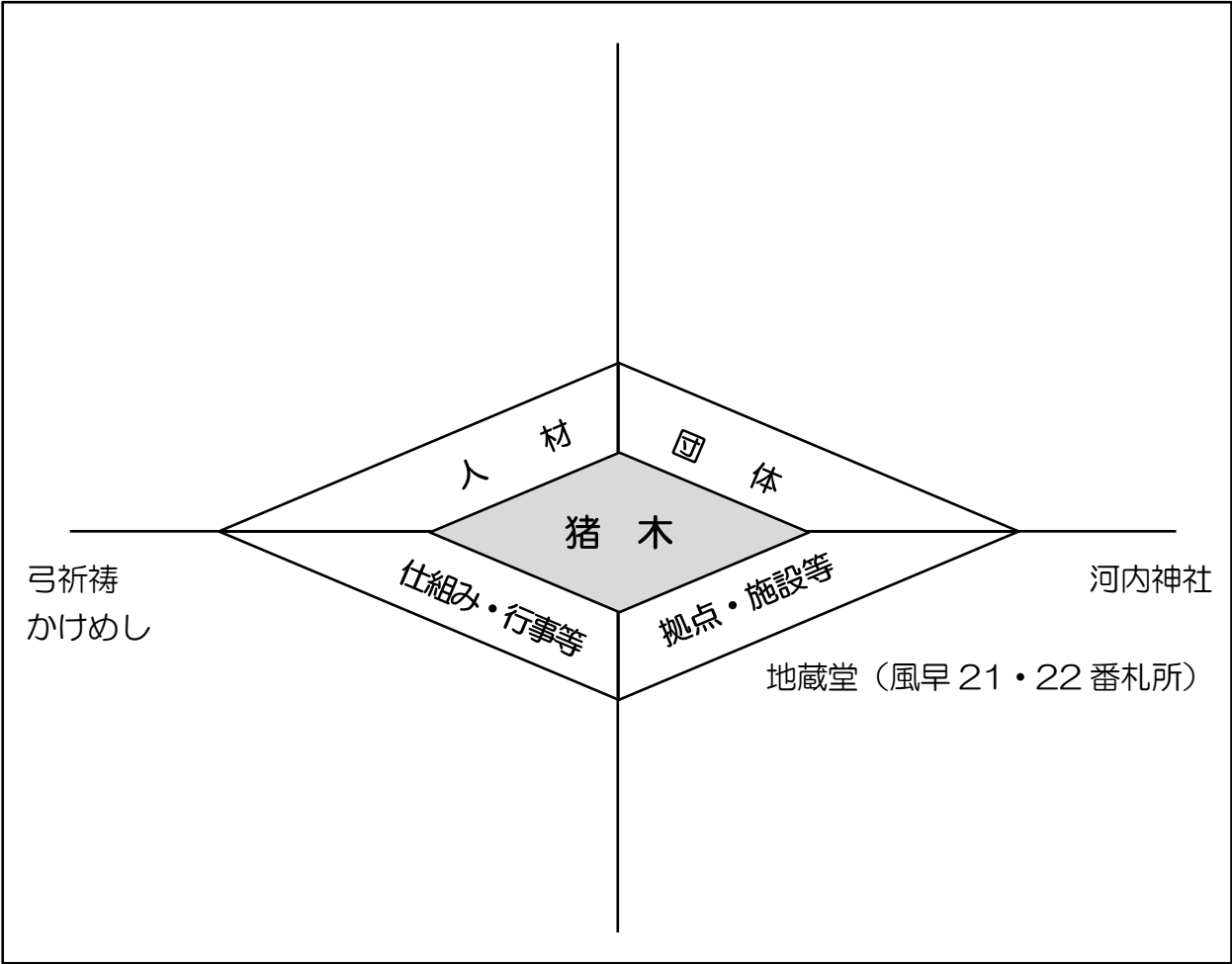


■地域の概要

面	積	1.54 km ²	
人	口	10人	
世帯	数	8世帯	
内訳	1世帯当たり人口	1.3人	
	65歳以上人口	9人	90.0%
	75歳以上人口	6人	60.0%
	65歳以上独り暮らし	6人	60.0%
	75歳以上夫婦世帯	0世帯	0.0%
	65歳未満障害者数	0人	0.0%

(令和元年 10月 1日現在)

猪木地区福祉台帳



■地域の概要

面	積	3.08 km ²	
人	口	3人	
世帯	数	2世帯	
内訳	1世帯当たり人口	1.5人	
	65歳以上人口	3人	100.0%
	75歳以上人口	1人	33.3%
	65歳以上独り暮らし	1人	33.3%
	75歳以上夫婦世帯	0世帯	0.0%
	65歳未満障害者数	0人	0.0%

(令和元年 10月 1日現在)

(アンケート調査に基づき主な活動等のみ掲載)

1. 公民館及び関連団体の活動行事等

つつじ祭り	三世代餅つき大会
夏祭り	文化財めぐり
運動会	凧揚げ大会
公民館祭り	貫之山清掃
レクバレー大会	人権地区別懇談会
ソフトボール大会	立岩ダッシュ村
グランドゴルフ大会	

2. 地区社会福祉協議会及び民生児童委員協議会の活動

いきいき健康教室（公民館・高縄荘共催）	年5回
まついち体操	毎週 月・金曜日
清掃活動（小学校）	8月
サロン代表者会	9月・3月
福祉だより発行	年1回
給食サービス（花垣弁当）	月1回
施設訪問	
独居高齢者安否確認	
敬老の日記念品配布	

3. 自主グループ及び趣味教養講座等

高縄山麓市場	たんぽぽ会
立岩清流会	フラダンス
	ひまわり会（伊予万歳）
	大正琴
	陶芸教室

4. 各種団体・組織

立岩公民館	自主防災連合会
立岩地区区長会	交通安全協会立岩支部
立岩地区まちづくり協議会	日赤奉仕団立岩支部
立岩地区社会福祉協議会	消防団立岩分団
立岩地区民生児童委員協議会	女性消防クラブ
立岩体育協会	防災士会
愛護班連絡協議会	防犯協会立岩支部
立岩小学校 PTA	青少年健全育成協議会
こども会議	農業懇談会

5. 立岩地区内の主な施設・史跡等

立岩公民館	警察官連絡所
立岩地区まちづくり協議会事務所	特別養護老人ホーム高縄荘
立岩小学校	AWC トレーニングセンター
立岩郵便局	高縄ライスセンター
えひめ中央農業協同組合立岩出張所	

6. 立岩地区内の主な史跡等

神社 15	日高山城跡
寺院 3（高縄寺含む）	神途城跡
風早八十八ヶ所のうち 33 か所	高手山城跡
（1 番から 22 番 78 番から 88 番）	新高手城跡
立岩川洪水碑	十九地山砦跡
（明治 19 年 9 月 24 日洪水発生）	萩尾山砦跡
出征記念碑	立岩鉾山跡
立岩地区農村集団電話開通記念碑	宝坂鉾山跡
造林記念碑	

7. 各地区の行事

秋祭り	各地区	花まつり（灌仏会）	2 地区
弓祈祷	3 地区	敬老会（敬老の日）	各地区
大般若	7 地区	高齢クラブ	5 地区
いのこ	7 地区	サロン	8 地区

高 齢 化	高齢化の進行が顕著。（高齢化率 60%超、75 歳以上 30%）今後さらに高齢化が進む。
	高齢になっても仕事中心の生活が続く。
公 民 館 活 動 地 域 活 動	リーダー・世話役が不足
	催し物・活動が多い。
	活動への参加者が減少傾向にある。
	活動がマンネリ化している感がある。
	60 歳代の参加が不足。（次世代のリーダーが不足）
	複数の活動に同じ人が参加するようになり、活動への負担感が増加している。
交 通 手 段	交通手段が不足。 公共交通機関 伊予鉄バス 平日のみ午前 3 便午後 4 便、北条から庄府、うち小山田経由午前 1 便午後 1 便計 2 便
	交通弱者の増加（高齢化に伴い）の懸念。
	バス停までの不便。
居 場 所 づ くり	気軽に集まれる場所がない。
	働く場所がない。
防 災	自然災害の危険箇所が多い（指定危険区域 120 か所）
	災害避難時の民生委員の対応が困難。
民 生 児 童 委 員	民生委員と地域のつながりが薄い。
	独居高齢者との連絡が困難。
	災害避難時の対応が困難。
	引きこもり等の状況を聞きにくい。
	経済弱者の応談・相談に限界を感じる。
立 岩 自 慢	地域内コミュニケーションがとりやすい。
	地域内関係団体の相互連携がとりやすい。
	公民館活動・地域行事が多く活発である。
	史跡も多い。
	自然が豊か。

標記計画の策定に当たっては、令和元年5月28日開催の立岩地区社会福祉協議会理事会・評議員会において、当年度中に計画策定に取り組むこととし、活動計画策定委員長を置き、以後、下表の策定委員会メンバーによる策定委員会の開催 関係団体へのアンケート調査等を実施して素案を策定、理事会・評議員会の承認を経て決定したものです。

1. 立岩地区地域福祉活動計画策定委員会の構成

役 職	氏 名	備 考
委員長	渡 部 和 司	立岩地区社会福祉協議会副会長 立岩地区社会福祉協議会活動計画策定委員長
委 員	篠 原 一 正	立岩地区社会福祉協議会会長
委 員	谷 口 重 則	立岩地区社会福祉協議会副会長 立岩地区民生児童委員協議会会長
委 員	山 本 政 志	立岩地区社会福祉協議会事務局長
委 員	篠 原 幸	立岩地区社会福祉協議会会計
委 員	池 谷 満	立岩地区社会福祉協議会調査啓発部長
委 員	山 田 マ ス ミ	立岩地区民生児童委員協議会副会長
委 員	徳 永 喜 充 子	主任児童委員

2. 立岩地区地域福祉活動計画策定委員会の開催状況

回	開 催 日 時	内 容
1	R1/7/3(水)	地域活動計画の概要、今後の策定手順について
2	R1/8/27(火)	アンケート調査の実施について（区長・サロン代表者・民生児童委員・主任児童委員へ依頼）
3	R1/10/30(水)	アンケート結果（地域課題・地区福祉台帳等）について
4	R1/12/4(水)	アンケート結果に基づく地域課題の抽出について
5	R2/1/22(水)	基本理念・活動方針等の検討
6	R2/2/17(水)	重点課題等の検討
7	R2/3/25(水)	活動計画全般の最終確認

※ 開催時間：19：00～ 開催場所：立岩公民館・立岩地区まちづくり協議会事務所

3. アンケートの実施状況

- (1) 実施時期 令和元年9月～10月
- (2) 実施対象 区長18名、各サロン代表者5名、民生児童委員・主任児童委員8人
- (3) 集計結果 添付資料1～3のとおり

3. 立岩地区社会福祉協議会理事会・評議員会での承認

- (1) 期 日 令和2年5月14日
- (2) 場 所 立岩公民館

各年4月1日現在（単位：人）

年	世帯数	人 口			年 齢 別 人 口				高 齢 化 率	
		総数	男	女	(再掲) 0～14	(再掲) 15～64	(再掲) 65以上	(再掲) うち 75以上	65 以上	75 以上
H17	461	1,178	520	658	69	603	506		43.0%	
H18	465	1,167	517	650	66	597	504		43.2%	
H19	465	1,138	510	628	67	575	496		43.6%	
H20	468	1,124	503	621	68	550	506		45.0%	
H21	470	1,102	488	614	69	530	503		45.6%	
H22	472	1,061	465	596	60	502	499		47.0%	
H23	460	1,029	460	569	54	501	474	310	46.1%	30.1%
H24	457	1,010	453	557	52	489	469	306	46.4%	30.3%
H25	448	965	428	537	47	452	466	303	48.3%	31.4%
H26	439	936	415	521	44	420	472	293	50.4%	31.3%
H27	438	916	403	513	41	396	479	296	52.3%	32.3%
H28	427	880	390	490	34	371	475	282	54.0%	32.0%
H29	427	850	371	479	32	347	471	273	55.4%	32.1%
H30	461	867	391	476	33	340	494	286	57.0%	33.0%
R1	455	852	388	464	34	331	487	278	57.2%	32.6%
R2	449	837	385	452	36	325	476	276	56.9%	33.0%

☆参考：松山市年齢別住民基本台帳登録者数

令和2年4月1日現在（単位：人）

区 域	世帯数	人 口			年 齢 別 人 口				高 齢 化 率	
		総数	男	女	(再掲) 0～14	(再掲) 15～64	(再掲) 65以上	(再掲) うち 75以上	65以上	75以上
旧松山市	236,382	479,918	225,476	254,442	61,826	288,069	130,023	64,783	27.1%	13.5%
旧北条市	12,197	26,367	12,342	14,025	3,000	13,840	9,527	5,032	36.1%	19.1%
旧中島町	2,054	3,512	1,616	1,896	101	1,056	2,355	1,462	67.1%	41.6%
松 山 市	250,633	509,797	239,434	270,363	64,927	302,965	141,905	71,277	27.8%	14.0%

※ 松山市ホームページ・統計データ・地区別年齢別住民基本台帳登録人口参照

第 1 期 立岩地区地域福祉活動計画

発 行：立岩地区社会福祉協議会

発行日：令和2年5月

《問い合わせ先》

松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課

〒790-0808

松山市若草町8番地2

松山市総合福祉センター内

Tel：089-941-3828 Fax：089-941-4408